

2023 年 1 月版サプリメントカタログ

Author : ぐりっと@TRPG_gri7

AFF2e は歴史的な経緯から資料や情報が膨大にあり、これから入門される方は迷子になってしまうかもしれません。この記事では現在一般市場で入手可能な書籍類・有用な情報源についてご紹介します。これから AFF2e を始める方はもちろん、未入手のサプリメント購入などの参考などにいただければ幸いです。

なお、★マークはプレイヤー・ディレクター（※1）問わず個人的なおすすめとなります。実際のところ全部おすすめしたいぐらいですが、購入の際の優先順位の目安くらいにお考えください。

※1 AFF2e は歴史的に映画的な演出を意識して制作されたことから、いわゆるゲームマスターやキーパーをディレクターと呼ぶのでしたね。

ルールブック < ルール + 資料 + シナリオ > ★

言うまでもなく最も重要な一冊です。（※1）基本ルール、基本の魔法 4 種、タイタン世界の基本、伝説、宗教や主要なモンスターのデータ、短めのシナリオが 2 本、ディレクターの参考情報など、ひととおり **AFF2e** を楽しむための全てがここに 있습니다。

プレイヤーが読むべきルールは最初の 100 ページに収められ、そのうち半分以上がデータですから、AFF2e のゲームシステムがいかにコンパクトかわかります。

大事なのは、AFF2e を遊び始めるにはこのルールブックがあれば必要十分であり、他のサブリや関連書籍は必須というわけではないということです。（※2）

一方で、もし AFF2e を気に入って「もっと知りたい・もっと楽しみたい」と思ったときには、その要望に応じてくれるだけの資料が豊富に存在しているといえます。これは **FF** も加えれば **40** 年もの歴史を持つ **AFF2e** の大きな強みでしょう。

※1 2023 年 2 月 4 日に改訂版ルールの発売が予定されています。これまでに流通していた書苑新社版は付属シナリオが『火吹山の魔法使い』でしたが、改訂の新紀元社版にはディレクター向け資料とシナリオ 5 本、ミシュナ島ガイドが付属し、より安価になります。書苑新社版に付属していたシナリオ『火吹山の魔法使い』は別途入手手段が用意される予定とのこと。

※2 膨大な情報は、これから AFF2e をはじめようとする方には参入障壁となりかねませんが、心配無用ということです。これは大事なところなので強調しておきます。

シナリオ集 & ミシュナ島のモンスター < 資料 + シナリオ > ★

2023 年 2 月 4 日に発売予定の改訂版ルルブに付属するサブリです。このサブリはタイタン世界のクール大陸南西部に存在するミシュナ島の固有モンスター・住人・歴史・都市・地理について紹介した非常にコンパクトな小ワールドガイドです。また、シナリオが 5 本付属します。

さて、シナリオ集はもちろん歓迎ですが、なぜ改訂版ルルブにはミシュナ島のガイドが付属することになったのでしょうか。

タイタンは非常に巨大な世界です。知れば知るほどタイタン世界の奥深さ、広大さが非常に魅力的に見えることでしょう。しかし同時に初心者の方にとって、そのあなどれないほどの情報量は手にあまってしまいかもしれません。

一方、ミシュナ島はほんの数ページで把握できるとても小さな島です。10 分か 20 分もあればミシュナ島のツアーガイドができるほど詳しくなれるかもしれません。なにより孤島の性質上、世界の他の地域の情報とは切り離して単独で扱うことができます。

このミシュナ島であれば、初心者の方でもすぐに AFF2e の世界にとびこんでいけるのではないのでしょうか。AFF2e をはじめて遊ぶ方、特にディレクターの方にとっては、まさにうってつけのタイタン世界入門というわけです。

また既存のプレイヤー・ディレクターの方々にも目新しいモンスター生態系や世界設定は新鮮にうつることでしょう。

はじめての AFF★ (コミック)

AFF2e に興味を持たれた方の入門や布教用としておすすめできる本です。まさに「**AFF2e** がよくわかる本」で、ルールはもちろん、この世界やシステムの背景、各サプリメントの紹介、さらにはシナリオまでついて、しかもお安いという恐るべきマンガです。ライトな雰囲気とは裏腹に無理なく少しづつルールや背景などがコラムなども交えて説明補完されているのに加え、さりげなくコアな情報も載っていたりと充実した一冊となっています。

この本がお手元にあるなら、この「**2023 年 1 月版サプリメントカタログ**」という記事はいらないのではないかと (※ 1) という説が浮上しますが、「いろんな立場のサブレビューが存在してもよからう」ということで特にスタンスは変えずに書いております。

※ 1 予想通りだったんですけどね。

ファイティング・ファンタジー・コレクション★

AFF2e の柱でありアイデンティティである **FF** シリーズです。これらは独立したソロ用ゲームであるだけでなく、「体験的にタイタン世界を知ることのできる究極のガイドブック」でもあります。

初期の単体作品だけではわかりにくいですが、作品同士がさりげなく連携されており、やがて世界が繋がっていることがわかってくるという、ある意味壮大な仕掛けになっています。（※ 1）

これらの作品群から、ヤズトロモ、ニカデマス、ザゴール、バルサスなど、タイタン世界に欠かせない重要人物も生まれ、別作品で再登場したりとシリーズ全体を通して時間的・空間的なつながりを楽しむことができます。

後続に傑作キャンペーンの『ソーサリー』シリーズや FF40 周年記念新刊などがコレクション化されることが期待されています。

このサプリメントの強みは、

1. ひとりで好きな時に楽しめる
2. 究極のワールドガイドである
3. **AFF2e** シナリオの最高のサンプルである

ということでしょうか。世界のつながりについては次の『タイタン』でも補足します。

※ 1 『火吹山の魔法使い』にすら、あるパラグラフで「ケインレッシュ・マ」という単語が登場します。それがなんなのかは調べてみてください。

タイタン < 資料 > ★

タイタン世界のワールドガイド。この書籍はもともと英国では 1986 年に出版され、日本では 1990 年に翻訳出版されました。**FF** シリーズの 20 巻前後が発売されたころには編纂が開始されていたようで、その当時に発売が予定されていた後続作品も世界に織り込まれています。

通常であれば、発売予定だった作品も考慮したとはいえ、ワールドガイドとしてはすぐに寿命を迎えて古くなってしまいそうなものです。

しかし『タイタン』の編者マーク・ガスコイン（※ 1）はあらかじめ世界を大きくエリア拡張して『タイタン』を出版しました。後続の作家陣はこの『タイタン』を礎に未踏エリアなどの舞台も含めて作品を発表し、文字通り「タイタン世界を開拓していった」ため、結果的に『タイタン』そのものが壮大なタイタン世界を自己実現してしまったという驚くべき経緯があります。

少し前置きが長くなってしまいましたが、『タイタン』には以下のような内容が含まれています。

- ・各大陸の主要な都市・地域などの紹介
- ・神話／歴史／伝説
- ・代表的な善・中立・悪の登場人物

- ・主要モンスターの文化
- ・暦やタイタン世界の住人の文化

これらの資料にはどんな利用方法があるでしょうか。

まずディレクターのシナリオ作成のネタとしての利用方法が考えられます。伝説に登場する英雄や、なにかとタイタン世界の住人に干渉する神々、文化として発生するイベント、モンスターの習慣から発生する事件などネタには事欠きません。想像力を刺激する情報があちらこちらにちりばめられているため最高のシナリオ作成サプリメントとすることができます。

例えば遺物の探索を依頼されるシナリオでセッションをするとして、全くの架空のアイテムを目標とするより、『タイタン』に記載されている伝説上の英雄の装備にまつわるシナリオとするだけでもぐっと説得力と深みができます。『タイタン』のエピソードを使ってシチュエーションなども凝ったものにできるかもしれません。

一方でこのサプリメントは **FF** に登場してきた人物や世界背景などタイタン世界の秘密を暴露した究極のファンブックでもあります。例の「1 パラグラフで一方的にしゃべりたおすニコデマス」(※ 2) の苦しみの過去やアズール卿の驚くべき出自、オークのひどいジョーク、我らのロガン (※ 3) のとんでもない扱いなど、AFF2e にかかわりのある方・FF シリーズになじみのある方には驚きと楽しさが詰まった一冊です。ある程度、**FF** などで遊んでから入手するとその真価がわかりやすいでしょう。

ところでマーク・ガスコインの編纂が秀逸な点はもうひとつあります。『タイタン』では **AC284** 年 (※ 4) を現在として未来を明確に描いていないということです。例えば、「火吹山の邪悪な魔法使い」は倒されたという記載はあるものの、肝心のそれが誰を指すのか、事実なのかについては不明瞭な伝聞として記載するにとどまっています。バルサスについても「どういう経緯で黒い塔 (バルサスの要塞) に住むことになったのか」は記載されていますが、その後どうなるかについては明確な記述がありません。そこから先は **FF** や **AFF2e** を手にとったプレイヤーたちに任せるというわけです。つまりタイタンの未来は我々の手の中にあり、**FF** 読者やセッションの数だけ不確定なパラレルワールドとして存在しているのです。(※ 5)

※ 1 **FF** の専門誌ウォーロックの元編集長。さすがの編集力です。

※ 2 盗賊都市ポート・ブラックサンドに隠居する変なじいさん。少し話がひとりよがり。

※ 3 人間を作った、策略の中立神。「運と均衡」への関わりが強く、世界をひやかし続ける一方で、あざけられる事も。あなたもロガンの信徒ですよ。違うんですか？

※ 4 **AC** は「混沌後/After Chaos」の意味。アランシアでいう「魔法大戦」のあとの時代を指す。ちなみに『タイタン』には 248 年という記載が何度かありますが 284 年の誤植と思われる。

※ 5 他書籍もふくめると、一部時系列や年代が特定できるイベントもありますが、『タイタン』の未来についての思想は概ね「未定」と解釈できます。粹な描き方です。

モンスター事典 < 資料 >

初期作品 (ソーサリーと **FF14** 巻までが主な出典) の 206 種のモンスターカタログ (※ 1) です。英国で 1986 年に出版した当時と同じ **FF** 形式 (**AFF2e** 形式ではなく) で記載されていますが、**AFF2e** の基本ループに **AFF2e** での運用方法が記載されているため特別困るということもありません。ランダムに登場させる際に利用できる遭遇表や財宝表もあり、旧翻訳や英名との対訳索引もあります。ディレクターにとってはネタの宝庫なのはやうまでもありません。

さて、ディレクターにとって有用なのは確かですが、プレイヤーにとってはどうでしょうか。

FF やセッション後に、登場したモンスターについて調べれば、詳しい特性や生息地、出典、イラストを楽しむことができます。個人的には出典がポイントが高く、まだ遊んでいない作品や遊んだはずの作品（！）の未知のモンスターを単純に眺めていくだけでもかなり楽しめます。「プレイヤーが不特定多数のモンスターの詳細情報を知ってしまうのはまずいのでは」と思われるかもしれませんが、「詳しい情報を知らない」というキャラクターを演じるのも RP です。遠慮はいらないでしょう。

※ 1 タイタン関連のモンスターに限定されているため、ガンジグ人（『さまよえる宇宙船』）などはできません。

超モンスター事典 < 資料 >

こちらは『モンスター事典』の続巻であり、『モンスター事典』に掲載されなかった FF59 巻あたりまでとその他の関連書籍が対象で追加の 270 体ほどが紹介されています。

『モンスター事典』と大きく異なるのは掲載モンスターだけでなく、データが **AFF2e** ルール準拠になっていること、イラストレーターが明記されていることです。

掲載モンスターの出典作品は日本では出版されていないものが多く、未知のモンスターをランダムに眺めていくだけでもかなり楽しめます。資料的にはもちろん『モンスター事典』と同様コアな重要サブリとなります。

ヒーロー・コンパニオン < ルール >

追加ルール集の第一弾です。主に以下の内容となっています。

- ・追加タレント
- ・追加の魔法体系 7 種
- ・雇用のルール
- ・領地運営のルール
- ・大規模戦闘ルール
- ・野外アドベンチャーや試練キャンペーン作成のルールや資料

このサブリはすぐに使い始められる部分もありますが、追加となる魔法体系は、その習得や使用に「十分な成長」や「資金」などの制約があるものもあり、領地運営も十分な資金が必要となりますので、全体的にはやや中級者向けといえます。

小さくても領地をもって運営し、新たな魔法体系を使いこなし、軍事行動を起こすというのは、プレイヤーたちにとって目標となるかもしれません。

コンバット・コンパニオン＜ルール＞★

追加ルール集の第二弾です。

新規キャラでも選択できる追加の魔法体系 1 種のほか、追加タレント、運や回避など基本的なルールの拡張、戦闘／騎乗戦闘の拡張ルールなど、少し **AFF2e** に慣れてきたらすぐにも（あるいは最初から）採用したいオプションルールが豊富に用意されています。早めに入手しておきたいサプリメントです。

大型シナリオ『バルサスの要塞』が同梱されます。

火吹山の魔法使い＜シナリオ＞

おなじみ FF 代表作を冠したシナリオです。書苑新社版の基本ルルブに別冊として付属。1 回のセッションで攻略するのは難しく、前半・後半でそれぞれ数回のセッションが必要かもしれません。概ねオリジナルに忠実な内容となっています。ページ数は多くありませんが巻末の背景資料も読み応えがあります。近々、書苑新社版の基本ルルブは絶版となる見込みですが、このシナリオについては別途販売される見込みです。

ソーサリー・キャンペーン＜シナリオ＞

傑作キャンペーンである『ソーサリー』の AFF2e 版です。こちらも基本的にオリジナルに忠実です。ゲームブックでは語られていない背景などにも触れられており、読み応えもあります。カーレのカラーマップが付属しています。かなりの回数の長期キャンペーンになることが考えられますが、一度はパーティでマンパン砦に突撃したいものですね。

ソーサリースペルブック＜資料＋ルール＞

ソーサリー・キャンペーンに同梱されている別冊妖術呪文書です。オリジナルの『ソーサリー』で遊ばれた方にはおなじみの呪文書ですが、各妖術は大判見開きで左ページにジョン・ブランチのイラスト、右ページ上段にゲームブック版の呪文の説明、下段に **AFF2e** 版の呪文の説明が記載されています。また、巻末には妖術の追加ルールや運用指針、妖術以外の 3 種も含めた魔法一覧とその他のサマリーが掲載されており、なかなか豪華な内容になっています。

バルサスの要塞 < シナリオ + ルール >

コンバット・コンパニオンに付属する好評のキャンペーン・シナリオです。ボリュームがあるため、多くの場合、相当期間のキャンペーンとして遊ぶ形になります。導入までの経緯や背景、追加要素など興味深い構成になっています。PC 向けではありませんが魔術体系が 1 種追加されます。

などと知ったように書いていますが 2023 年にプレイヤーとしてセッションに参加する予定なので、読むわけにもいかず、本当はよく知りません。がはは。

魔界ガイドブック < ルール + 資料 >

タイタンの歴史は常に善と混沌とが闘争を繰り返しており、この闘争は永遠のテーマです。『魔界ガイドブック』は、その混沌勢力の本拠地である「魔界」の世界ガイドとなっていて、具体的な魔界構築のルールが含まれます。ヒーローにとって簡単に到達できる場所ではありませんが、いずれ攻略すべき運命の最終目的地といえるかもしれません。

通常、初期キャラクターが突入するようなプレーンではないため、中～上級者向けのサブリといえるかもしれません。しかし直接的に侵入しないまでも混沌勢力の核となる階級社会や混沌勢力の相関などを知ることのできる貴重なサブリであり、説得力のあるシナリオのネタが隠されているでしょう。

破滅のデーモン < ルール + シナリオ >

こちらは『魔界ガイドブック』と同梱のサブリメントで、悪魔関連の魔法体系 1 種のほか「デーモン族キャラクターの作成ルール」 (!) と、そのシナリオが掲載されています。デーモン PC 向けのタレントを眺めているだけでもかなり興味深く、「早くナンカやゲールを率いてアランシアを蹂躪したい。泣き叫ぶ住人たちを追いかけまわすのだ・・・」という気持ちになりますが、一つ注意点があります。魔界は完全にブラック企業です。魔王子やバルサス・ダイアの命令には通常逆らえません。強く生きていきましょう。

タイタン植物図鑑 < ルール + 資料 > ★

『モンスター事典』の「葉っぱ版」ともいうべきサブリです。この図鑑に掲載されている植物は主に **FF** に実際登場したもので、「ボンバの実」や「ブラックロータス」など有名な植物はもちろん「ラムバッグの葉」など耳なじみのないもの、火吹山の山頂が赤く染まる原因の植物など多岐にわたっており、FF での出典も明記されています。

「TRPG で遊ぶのに葉っぱの本なんている？」という率直な感想を持たれる方も多いかと思いますが、むしろ早めの導入をおすすめしたいサブリの一つです。巻末にはあるエリアでの分布表や販売価格なども掲載されています。かなり特殊な効果の植物もあり、シナリオ作成のタネとしても有用です。

追加ルールである〈植物の知識〉という技能により、フィールドや洞窟などで植物の採集やその判別が可能になり、必要な薬品・食糧などの調達や危険回避（危険な植物も多い）など利便性の高いスキルを使用できるようになります。狙った植物が生息しているとは限らないという意味で確実さには欠けるものの、場合によっては魔法以上の効果が得られる可能性もあるため第 5 の魔法といってもいいぐらいです。ことのほかサバイバルな状況や、薬品・食糧などの現地調達が必要となるような野外シチュエーションでは生死を分ける可能性もあります。

『タイタン植物図鑑』の導入による最大のメリットは、「モンスターと NPC が配置された平面的な舞台」に植物という縦軸が加わることで〈世界に立体的な彩り〉を加えられることかもしれません。

なお、この『タイタン植物図鑑』は TRPG における植物を扱った書籍自体が非常に珍しいため、TRPG システムを問わず資料的な評価が高いようです。

ポート・ブラックサンド〈ルール + 資料〉★

ワールドガイドの第二弾で、その名の通りアラソニアの悪名高き代表都市であるポート・ブラックサンドの専門ガイドになっています。また、銃火器、海妖術、海戦などの追加ルールに加え、ランダムな都市作成ルールが付属しています。

メインとなるポート・ブラックサンドのガイドは、地図と対照できる形で様々な施設や家屋を調べることができ、各種ギルドはもちろん花屋の位置やその主人の性格、酒場のサービスランクまで記載されているという徹底ぶりで、歴史や刑罰、税制にいたるまでこの都市の特徴がこれでもかと掲載されています。『タイタン』同様、読み物としても楽しめる **FF** のファンブックといえます。（※ 1）

※ 1 想像力を掻き立てる内容であり、シナリオ作りの役に立ちます。実際「冒険のフック」というシナリオのアイデアとなるコラムが随所に掲載されています。

トロール牙峠戦争〈小説〉★

スティーブ・ジャクソンによる小説。歴史ある都市サラモニスの来るべき窮地を救うため、奇妙なパーティであちこちにかけてゆき、壮大な作戦を実行してゆくストーリーとなっています。シナリオ『バルサスの要塞』の前日譚にあたります。

遠慮なく書いてしまうと、ソフトカバーの書籍としては高価で、主人公が仏頂面で若干傲慢なキャラクターのため感情移入しにくいところもあるのですが、FF 作品でおなじみの重要人物が満載で、サラモニス周辺地域や酒場、ゴブリンの意外な一面、オークの生態、混沌勢力による村壊滅の様子、**FF** 関連作品中でも非常に珍しいシーン（※ 1）やセルフオマージュ的な懐かしいシーンなど見どころも多く、資料的な価値も非常に高いためおすすめしたい一冊です。

スティーブ・ジャクソン自身の作品である『モンスター誕生』とはパラレルストーリー的な関係にあるというのも面白いところ。本国には続編がありますが作者が異なり、こちらは単体で完結する作品でもあるため安心して読むことができます。

関連 FF 作品として『火吹山の魔法使い』『バルサスの要塞』『運命の森』『モンスター誕生』あたりを遊んだ後に読むとよいかもかもしれません。

※ 1 ネットバレを避けるためここでは詳細を避けますが、知る限り他作品ではみたことのないシーンがあります。

ソーサリー（創土社版ゲームブック）

説明不用かとも思いますが、傑作キャンペーンとして名高い 4 部作です。出版社の関係で厳密には FF のノンパブリッシングタイトルと言っているのか難しいところもあるのですが、FF 同様のシステム・タイタン世界を共有した FF シリーズとなります。

内容はスティーブ・ジャクソンらしくパズル性に富み、総パラグラフ **2000** を超える壮大な旅の物語となっています。AFF2e における妖術（※ 1）の実践的な使用方法としても参考になり、タイタンの 3 大陸の一つ旧世界のこの上ないワールドガイドでもあることから資料的な価値も高いため、いずれにしてもプレイ必須のシリーズです。

創元推理文庫版は絶版となって久しいところですが、2023 年 1 月現在も創土社版が流通しています。この創土社版はもとの創元推理文庫版から改訳されていますが、この改訳は往年のファンには違和感もあり賛否が分かれているようです。

2023 年発売予定のファイティング・ファンタジー・コレクション第四弾にソーサリーが採録される見込みが高く、前述の訳の問題から訳語統一が目指されているため、今から創土社版を買うかどうかは難しいところです。

※ 1 多人数プレイを前提とした AFF2e ルールとは細部にいくらか違いはあります。

アプリ・WEB・SNS・その他情報源など

以下は書籍以外のメディアのゲームや資料となります。多岐にわたるためおすすめのものだけに絞ります。

死の罟の地下迷宮トリロジー（アプリ／Nintendo Switch・スマホなど）

FF「死の罟の地下迷宮」に続く「迷宮探検競技」（絶版）と「死の軍隊」（未訳）というイアン・リビングストンの代表作というべき 3 部作をまとめたアプリです。FF とはルールに違いがあり成長要素がもりこまれてカードゲーム的なアレンジがほどこされていますが、アナログ感を残しながら物語や仕掛けは原作に比較的忠実に作成されており、圧巻の物語を手軽に楽しめます。アランシア北部の地理関係や「異境」と称される都市ゼンギスなど資料的な見どころもあります。非常によく作りこまれたアプリです。

Fighting Fantasy Classics（アプリ／英語／Windows・スマホなど）

こちらは本としての **FF** にも忠実なアプリで、本を追加購入して遊ぶ形式になっています。残念ながら英語版しかありませんが、非常に完成度が高く一部絶版作品なども楽しめるため非常におすすめです。翻訳アプリ（Google 翻訳など）を使用すれば英語が苦手でもなんとかなります。インチキとしてのサイコロ振り直しやズルをするためのしおり機能（※ 1）、ちょっとわかりにくいですが地図機能などが実装されているのが面白いところです。**FF** の「装備によって原点はあがるのか問題」（※ 2）もこのアプリでは丁寧に個別処理されていて納得がいきます。2023 年 1 月現在「死の軍隊」がリリース準備中になっています。また、2023 年 1 月 13 日に「サイボーグを倒せ」がリリースされました。今後にも期待できそうですね。

※ 1 イアン・リビングストーンは指しおり派です。イアン作品は突然死のイメージをお持ちの方もいるかと思いますが、そもそもガチガチに遊んでほしいとは思っていないのでしょうね。

※ 2 **FF** のルールは、版によっては「魔法の武器などを入手しても技術点などの原点は上がらない」としか読めない記述になっているものがありますが、このアプリでは魔法の武器や特別な祝福などについて、上がるもしくは戦闘などでは効果を発揮するという自然な処理になっています。『運命の森』や『死の罅の地下迷宮』をこのアプリで遊ぶと、クリア時には結構なボーナス状態になる場合も。イアンの作意としてはこちらが正しいでしょう。

Titannica(WEB / 英語)

AFF2e 最大の Wiki ファンサイト。情報量は随一で、調べ物をするならここです。GoogleChrome の翻訳機能などで利用するのが簡単です。

https://fightingfantasy.fandom.com/wiki/Fighting_Fantasy_Wiki_-_Titannica

Warlock Returns (PDF / 英語)

ArionGames 公式の季刊誌。最新情報やサポート記事。本家の動向をみるなら必読です。下記 URL から購入可能ですが、本家英語版ルルプ類もこちらから購入可能です。

<https://www.drivethrurpg.com/>

You Are The Hero (書籍・PDF / 英語)

FF 作家でもあるジョナサン・グリーン編集の **FF** ファンジン。（※ 1）大御所や他作家陣も関わっています。作家陣・イラストレーターへのインタビューのほか、資料など。2023 年夏に **FF40** 周年記念版のリリースが予定されています。入手可能かはともかく既刊が 2 冊あります。

<https://www.kickstarter.com/projects/jonathangreen/you-are-the-hero-40th-anniversary-edition/posts/3699733>

※ 1 Fanzine。ファンによるマガジンのこと。

Fighting Fantazine (書籍・PDF / 英語)

こちらは武延編集長のご推薦。

不定期刊行されている英本国有志による **FF** ファンジン。PDF は無料で入手できます。最新の 17 号は「まじで無料で配ってんの！？」というハイクオリティで驚かされます。既存作品の紹介や 200 パラグラフ前後のオリジナルゲームブック（イラストや編集のクオリティも高い）など内容が充実しており、一方で手作り感あふれるイラストがまざっていたりしてほほえましいところもありにっこり。少し探しにくいですがバックナンバーも同サイト内で入手可能です。

<https://www.fightingfantazine.co.uk/>

GMウォーロック (雑誌)

GroupSNE の季刊誌。各種 **SNE** 関連ゲームのサポート誌ですが、AFF2e のサポートが一番手厚いかもしれません。日本の雑誌ではほかに月刊の **Role & Roll** 誌にも AFF2e 関連記事が掲載されることがあります。

<http://www.groupsne.co.jp/products/magazine/GMW/index.html>

アドバンスト・ファイティング・ファンタジー - Wikipedia (WEB)

ざっと AFF2e 界隈の情報を俯瞰するのにおすすめです。URL は長いので省略。

ファイティングファンタジー - ピクシブ百科事典 (WEB)

各 FF 書籍情報などが充実しています。URL は長いので省略。

自由に使える AFF2e シナリオ集 (WEB)

この『スキだらけの AFF2e』编者であり、GM ウォーロック誌のライターであるぶーすけさんこと武延工助先生主催のシナリオ公開サイト。Twitter 界隈で著名な方々がシナリオを投稿しています。だいぶお世話になっています。

<https://aff2e-free-scenario.game-info.wiki/>

冒険記録葉紙 (WEB)

情報サイトではありませんが、AFF2e のオンラインセッション向けキャラクターシート。デーモンキャラクターも作れます。オンラインセッションで使用するパレット出力機能 (※ 1) が優秀で、初心者への支援にもおすすめです。

<https://konoha.tanu.info/>

※ 1 オンラインセッションでダイスロールするときの支援機能。ココフォリアやユドナリウムをサポートしています。

Twitter (SNS)

もはや資料名とすら言えませんが、なんといっても最新の情報が入手でき、Twitter の中のひとにはとんでもなく詳しい人もいます。FF 関連のつぶやきを読んでいるだけでも勉強になります。

下記 Twitter コミュニティもあります。

< 勝手に入会できる AFF2e 友の会 >

こちらもぶーすけさん主催。

<https://twitter.com/i/communities/1506789788275593220/about>

末筆となりますが、様々な知識をご教示いただいた Twitter の中のひとたち、共に遊んでくれた TRPG オンセンの中のひとたちにこの場を借りてお礼申し上げます。あなた方がいなければこの記事は書いていません。

この作品は

「安田均・他/グループSNE」及び「グレアム・ボトリー、スティーブ・ジャクソン、イアン・リビングストーン」が権利を有する『アドバンスト・ファイティング・ファンタジー第2版』の二次創作物です。

ADVANCED FIGHTING FANTASY 2nd Edition

Copyright © Graham Bottley, Steve Jackson and Ian Livingstone, 2011

Japanese version copyright © GroupSNE, 2018